



社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団
『長寿の里デイサービスセンター』の皆さん

通常のデイサービスに加えて認知症を持つ人の通所も受け入れるデイサービスセンターで、発案者である山本センター長・今村副センター長を中心に、アロマセラピーを活動に取り入れているスタッフたち。

社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団 長寿の里デイサービスセンター

脳の機能訓練と言われる“らくしゅう式機能訓練”やアロマテラピーをサービスに取り入れ、認知症予防にも積極的に対応している。住所／熊本市西区城山薬師2-10-10 TEL/096-329-1112



(右上)アロマの香りを楽しむ利用者の皆さん。オイル名を大きく書き、分かりやすいようにしている (右下)開所当時、単独のデイサービス施設としては日本最大の広さとして話題に。その志が今も根付いている。(左)アロマセラピストのアドバイスを受けて作成した、オリジナルのルームスプレー

ア・ロ・マ の チ・カ・ラ

enjoy aroma life

香りでお手伝い アロマライフ

～ VOL.10 ～

認知症対応型施設の 大きな柱として 取り組んでいます

「いい匂いがしますか?」「うん、優しい香りがするね!」「これはオレンジの香りですよ。」大きな声で問いかけるスタッフと共にいくつかの小瓶を鼻先で香り、ニッコリと笑う利用者たちの笑顔は本当に穏やかだ。『長寿の里デイサービスセンター』で取り入れられているアロマテラピー。元々は山本センター長・今村副センター長も個人的に親しんでいたというが、認知症対応型デイサービスセンター開設にあたって認知症予防にアロマを提唱する鳥取大学浦上教授の研究をHPで知り、「認知症対応型施設の大きな柱として、アロマテラピーに取り組みたい」と、2014年5月から本格的に導入することになった。

現在はデイユーメーザーでの芳香浴、月1回のボランティアによるハンド＆フットマッサージや11月には他事業者にも声を掛け種揃えたオイルを使ったオリジナルのルームスプレー作成のほか、11月には他事業者にも声を掛けアロマに関するケアマネジャー研修を行った。特にマッサージは利用者に好評で、「ボランティアさんの前にすらすらと行列ができるんですよ。心待ちにしている方もいらっしゃいます」とセンター長は微笑む。そしてアロマを導入してから、様々な変化がみられた。「最初は『家に帰る、帰る』と言つていた方が、香りの効果からか少しずつ落ち着いたことがありました」とスタッフ。また「新しい事を導入する時には手間がかかることも

あって、スタッフも少なからず抵抗があるのが一般的ですが、このアロマテラピーは違いました。職員向け研修の時にも関心度が高い、身を乗り出していて(笑)。介護スタッフの疲れも癒されたんですね」とセンター長。体力的にハードで、常に緊張を強いられる介護スタッフ。その気持ちや体も、アロマがほぐしたようだ。

「昔親しんでいた香りをかぐなどの回想法は脳の活性化に繋がるとも言われますし、そのことがきっかけでご利用者の皆さんとの会話が弾むことも。反応もいいので、知識を勉強してもつとアロマを広めたいです」とセンター長。専門施設のアロマを用いた意義ある取り組みは、始まりばかりだ。